

陛下ノ所シ一割四分ニ讓歩スル旨申渡シタルニ職工一部ニシテ
忘セサル爲メ翌二十日更ニ職工側ノ代表ト會見ヲ約シタリ
ニ職工側

常備職工ハ平素ノ如ク就業シ居ルモ請員工ハ出勤ハ爲シ居レ
ルカハ罷業状態ニテ対策提議ヲ爲シ尙十九日会社側ヨリ一割四
分陛下ニ讓歩セルニ對シテ大部介ハ會社ノ措置ヲ諒トセルモノ、
如クナル兵一部煽動者ノタリ未ク解決セズ本日更ニ會見スベク
會社側ニ申渡シタリ

三 關東金屬労働組合

極力左様職工側ノ勝利ヲ期シ十八日ニハ爭議批判演説會ヲ
開キ氣勢ヲ添ヘ般的ニ一割四分陛下ニテ解決ノ曙光見エタ
ルニ對シテ煽動的行動ニ出ヅルヤノ疑アリ視察中

四 一般狀勢
会社側ノ一割讓歩ニマリ女体解決ノ曙光見エタルモノ、如ク
如及中(通)報候也

第 二 三 一 六 號

昭和四年十月九日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿
社會局長 官殿
大阪神奈川各府縣知事 殿

斗南電氣秀光研究所 寄衝申議ニ関スル件 (案取一查)

要旨

(一) 事業主ノ賃金(請員單價)低下ヲ表示シ而罷業糾纏食ヲ支給セザル爲メ
嘆願書ヲ提出シ引續キ要求書ヲ提出ス
(二) 寄衝爲金負四十三名ハ本月四日罷業ス

815